

健康におけるソーシャル・キャピタル研究講演会

日 時：2017年10月21日（土）13:00～16:10

場 所：日本大学法学部 10号館3階 1031講堂

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/facility/map.html>

主 催：健康の社会的決定要因としてのソーシャル・キャピタル研究会

参加費：無料

世話人：稲葉陽二（日本大学法学部政治経済学科 教授）

参加申し込み：inaba.yoji@nihon-u.ac.jp にご所属・お名前をご連絡ください。

★プログラム：

13:00～14:30【講演】

講師：千葉大学予防医学センター 教授

近藤 克則 先生

演題：「健康格差社会への処方箋」—社会は健康とどう結びついているのか—

概要： JAGES（日本老年学的研究）で日本における社会疫学を確立された近藤克則先生から、2冊のご近著『健康格差社会への処方箋』、『ケアと健康—社会・地域・病い』の紹介と、JAGESにおけるソーシャル・キャピタルと健康についての最新の研究成果をご講演いただきます。

14:40～16:10【講演】

講師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

・人工知能研究センター 首席研究員 兼 確率モデリング研究チーム長

本村 陽一 先生

演題：「次世代人工知能技術の活用と社会実装」

概要： 人工知能技術はビッグデータから計算モデルを学習することで、意思決定や動作を最適化できる情報技術です。

産総研が進める「人と相互理解できる次世代人工知能技術」の概要や生活・社会分野における活用事例を紹介するとともに、現在進めている多機関連携での社会実装、人工知能技術コンソーシアムの概要について、産業技術総合研究所の本村陽一先生にご紹介いただきます。

16:10～17:00【交流会】

自由参加

日本大学 三崎町キャンパス

